

和歌山県アーチェリー協会の歩み

令和6年4月1日現在

| 西暦 | 元号 | 事柄 |
|------|-------|--|
| 1965 | 昭和40年 | 宮本操を会長代理として和歌山県アーチェリー協会が設立 |
| 1969 | 44 | 菅井康郎が二代目会長に就任 |
| 1971 | 46 | 第26回国民体育大会和歌山大会(黒潮国体)開催アーチェリー競技は身体障害者スポーツ大会の中で行なわれ、中村誠之助が出場 |
| 1972 | 47 | 中村誠之助、パラリンピック(西ドイツ)に出場し、個人2位入賞 |
| 1975 | 50 | 西孝收、世界選手権1次選考会(熊本)において90mダブルラウンドで日本記録を樹立 西孝收、第28回世界選手権大会(スイス インターラーケン)に出場し団体2位入賞 |
| 1976 | 51 | 西孝收、第21回オリンピック(カナダ モントリオール)に出場し、個人8位入賞 |
| 1977 | 52 | 松下和幹、第29回世界選手権大会(オーストラリア キャンベラ)に出場し個人8位入賞 第32回国民体育大会(栃木県)でアーチェリーが正式種目に認定 和歌山県立貴和高等学校(現 貴志川高校)にアーチェリー部が創立 |
| 1980 | 55 | 松下和幹、第22回オリンピック(モスクワ)代表に決定 |
| 1981 | 56 | 第36回国民体育大会(滋賀県)で成年男子(松下・辻本・北野)が4位入賞 |
| 1984 | 59 | 全日本社会人アーチェリー選手権大会が紀三井寺陸上競技場で開催 第39回国民体育大会(奈良県)で少年男子(鎌田・井川・西岡)が3位入賞 |
| 1993 | 平成5年 | 第48回国民体育大会(香川県)で成年男子(西・河本・東出)が7位入賞 |
| 1994 | 6 | 第49回国民体育大会(愛知県)で脇坂(旧姓 森)が少年男子個人5位入賞 和歌山県立田辺商業高等学校にアーチェリー部が創立 |
| 1998 | 10 | 香川県で行なわれた平成10年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会第31回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて田辺商業高等学校(羽谷、黒崎潤、黒崎圭)が団体6位入賞 |
| 2000 | 12 | 和歌山県立和歌山高等学校にアーチェリー部が創立 |
| 2001 | 13 | 藤本学が三代目会長に就任 熊本県で行なわれた平成13年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会第34回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて大久保陽平(田辺商業高校3年)が男子個人7位入賞 |
| 2002 | 14 | 第57回国民体育大会(高知県)で少年男子(川嶋・八木・西田・松本)が8位入賞 |
| 2003 | 15 | 世耕弘成が四代目会長に就任 平成14年度JOCジュニアオリンピックカップ第21回全国高等学校アーチェリー選抜大会にて八木秀憲(和歌山高校2年)が2位入賞 |
| 2004 | 16 | 第13回全日本室内アーチェリー選手権大会が和歌山市ビッグホエールで開催され、那須皇嗣(日本体育大学4年)が2位入賞 平成15年度JOCジュニアオリンピックカップ第22回全国高等学校アーチェリー選抜大会にて谷島勇輝(和歌山高校2年)が選抜大会記録(90m285点)を樹立し、8位入賞 山口県で行なわれた平成16年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会高円宮賜杯第37回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて辻野希志章(貴志川高校3年)男子個人初優勝 第59回国民体育大会(埼玉県)で少年女子(琴浦・大津・谷口・竹内)が3位入賞 |
| 2005 | 17 | 鳥取県で行われた第14回全日本室内アーチェリー選手権大会にて濱田紘代(和歌山高校2年)が6位入賞 平成16年度JOCジュニアオリンピックカップ第23回全国高等学校アーチェリー選抜大会にて濱田紘代(和歌山高校2年)が3位、三垣日登美(和歌山高校2年)が8位入賞 濱田紘代(和歌山高校3年)がヨーロッパグランプリ/ブルガリア大会(ブルガリア ソフィア)に出場し、10位の成績を収める同時に日本高校記録(シングルラウンド1312点)を樹立 千葉県で行なわれた平成17年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会高円宮賜杯第38回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて和歌山高校女子(濱田・三垣・前山・森澤)が女子団体初優勝、井出広俊(和歌山高校3年)が8位入賞 第60回国民体育大会(岡山県)で、成年男子個人 那須皇嗣(田辺商業高校講師)と少年女子個人 前山明日香(和歌山高校2年)が優勝を果たし、少年女子団体(濱田、三垣、前山、武田)が2位入賞 2006アジアグランプリ・バンコク大会の日本代表として、濱田紘代(和歌山高校3年)が出場 |
| 2006 | 18 | 奈良県で行なわれた平成17年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会高円宮賜杯第39回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて和歌山高校女子(前山・吉田・張間)が女子団体4位入賞、女子個人で吉田知未(和歌山高校3年)が4位、張間舞妃(和歌山高校2年)が8位入賞 |
| 2007 | 19 | 平成18年度JOCジュニアオリンピックカップ第25回全国高等学校アーチェリー選抜大会にて張間舞妃(和歌山高校2年)が2位入賞 台北で行われた第2回アジアグランプリに張間舞妃(和歌山高校2年)が日本ジュニアナショナルチームとして出場日本少年女子チームが団体で2位入賞 大阪府で開催された2007日本身体障害者インドアーチェリー選手権大会において、澤田哲治(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝を果たす 佐賀県で行なわれた平成19年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会高円宮賜杯第40回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて和歌山高校女子(張間・鈴木・吉原・井上)が女子団体3位入賞、男子個人で白石千景(和歌山高校3年)が7位入賞 第62回国民体育大会(秋田県)で、成年女子個人 前山明日香(近畿大学1年)が2位、成年女子団体(濱田、三垣、前山)が3位入賞 静岡県で行われた平成19年度全日本アーチェリー選手権大会に、谷口周平(和歌山高校3年)が出場し、20位と健闘 |
| 2008 | 20 | 第17回全日本室内アーチェリー選手権大会に、鈴木葵(和歌山高校2年)が出場し、6位入賞 平成19年度JOCジュニアオリンピックカップ第26回全国高等学校アーチェリー選抜大会にて鈴木葵(和歌山高校2年)が6位、吉原智恵(和歌山高校2年)が7位入賞 第10回世界ユース選手権大会最終選考会において、吉原智恵(和歌山高校3年)が2位となり、ジュニアナショナルチームのメンバーに選出 埼玉県で行なわれた平成20年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー大会高円宮賜杯第41回全国高等学校アーチェリー選手権大会にて女子個人で鈴木葵(和歌山高校3年)が6位入賞 第63回国民体育大会(天分県)で、成年女子個人 前山明日香(近畿大学2年)が8位、少年女子個人 吉原智恵(和歌山高校3年)が個人優勝成年女子団体(谷口、三垣、前山)が3位、少年女子団体(鈴木、吉原、井上)が4位に入賞し、県初となる女子総合優勝を果たす トルコ アンタリアで行われた第10回世界ユース選手権大会において、吉原智恵(和歌山高校3年)が個人35位、団体で6位入賞 |
| 2009 | 21 | 第42回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会において、土井友幹(医療法人彌栄会)が個人8位入賞 第64回国民体育大会(新潟県)で、成年女子個人 前山明日香(近畿大学3年)が2位入賞、少年男子個人 木村 研二(和歌山高校3年)が7位入賞し、成年女子団体(三垣、前山、張間)が5位に入賞 |
| 2010 | 22 | 第19回全日本室内アーチェリー選手権大会に、鈴木葵(近畿大学1年)が出場し、3位入賞 第43回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会において、土井友幹(医療法人彌栄会)が個人4位入賞、三垣日登美(医療法人彌栄会)が個人4位入賞 トルコ アンタリアで行われた2010年ワールドカップに、前山明日香(近畿大学4年)が出場 第65回国民体育大会(千葉県)で、成年女子個人 前山明日香(近畿大学4年)が3位入賞、鈴木葵(近畿大学2年)が8位入賞、成年女子団体(前山、張間、鈴木)が3位入賞 |
| 2011 | 23 | 第59回全日本実業団アーチェリー大会(岐阜県)で、医療法人彌栄会(土井・川嶋・三垣)が出場し、団体5位入賞、男子個人 土井友幹が5位、大浦弘記が6位入賞 第44回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会において、土井友幹(医療法人彌栄会)が個人8位入賞 第46回世界選手権大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が 出場 第17回アジア選手権大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出場し、団体 7位 ロンドンオリンピックに古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出場し、個人 7位 ワールドカップ 上海大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出場し、男女混合で銀メダルを獲得 ワールドカップ アンタリア大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出場し、団体で銀メダルを獲得 平成23年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第44回全国高等学校アーチェリー選手権大会(青森県)で男子団体で和歌山高校(向井、河原田、津田)が6位入賞 第66回国民体育大会(山口県)で、少年男子団体(向井、津田、栗田)が6位入賞 平成23年度全国指導者研修会が和歌山市内で開催される |

| 西暦 | 元号 | 事柄 |
|---|----|---|
| 2012 | 24 | ワールドカップ オグデン大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出席し、男子団体が金メダルを獲得し、ロンドンオリンピックの出場枠を獲得 |
| | | 第30回オリンピック競技大会(ロンドン)において、古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が出席し、男子個人銀メダルを獲得 |
| | | 第60回全日本実業団アーチェリー大会(愛知県)において、医療法人彌栄会の大嶋恵が個人4位、土井友幹、張間舞妃が個人8位入賞、団体が医療法人彌栄会チームが団体2位入賞 |
| | | 平成24年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第45回全国高等学校アーチェリー選手権大会(新潟県)で、女子団体の和歌山高校(北村、古田、殿田)が4位入賞、男子個人で栗田清貴(貴志川高校3年)が4位入賞 |
| | | 和歌山県で開催した第67回国民体育大会近畿ブロック大会において、少年男子・女子、成年男子・女子の4種別がそろって岐阜県単体へ出場(4種別出場は初) |
| | | 第67回国民体育大会(ぎふ清流国体)において、津田勇志(和歌山高校)が少年男子個人2位入賞、少年男子団体(津田・栗田・山田)が初優勝、女子団体(秋月・北村・古田)が5位、成年男子団体(那須・土井・向井)が7位入賞、男女総合成績2位と過去最高位となる |
| 2013 | 25 | 2013年前期ナショナルチーム選考会において、古田悠(和歌山高校2年)が3位となり、ジュニアナショナルチームのメンバー入りを果たす |
| | | 2013年第1回アジアグランプリに古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、個人金メダルを獲得男子団体銀メダル、ミックスにおいても金メダルを獲得 |
| | | 第22回全日本室内アーチェリー選手権大会において、大嶋恵(医療法人彌栄会)が3位入賞を果たす |
| | | 2013年第1回ワールドカップ上海大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が日本代表として出場し、個人9位 |
| | | 平成24年度JOCジュニアオリンピックカップ第31回全国高等学校アーチェリー選抜大会において、古田悠(和歌山高校2年)が出席し、8位入賞を果たす |
| | | トルコ アンタルヤで開催される第47回世界ターゲットアーチェリー選手権大会最終選考会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、第1位で日本代表として出場が決定 |
| | | 中国無錫市で開催される2013年世界ユースアーチェリー選手権大会最終選考会に古田悠(和歌山高校3年)が出席し、第1位でジュニア日本代表選手として出場が決定 |
| | | 長崎県佐世保市で開催された第46回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会で大嶋恵(医療法人彌栄会)が4位入賞 |
| | | 第61回全日本実業団アーチェリー大会(愛知県)において、医療法人彌栄会チームが団体3位入賞 |
| | | 2013年第2回ワールドカップトルコアンタルヤ大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、男子団体が銀メダルを獲得個人33位 |
| 平成25年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第45回全国高等学校アーチェリー選手権大会(新潟県)で、女子団体の和歌山高校(古田、殿田、平川)が8位入賞、女子個人で古田悠(和歌山高校3年)が和歌山県女子で初となる優勝を果たす | | |
| 第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)において、古田悠(和歌山高校3年)が少年女子個人優勝、少年男子団体(山田・坂本・倉矢)が2年連続の優勝、女子団体(古田・殿田・平川)が3位入賞となり、2年連続で男女総合成績2位を果たす | | |
| 第13回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京2013)において、リカーブ50.30mラウンド(区分:下肢障害)部門で、尾崎直彦(和歌山SSKアーチェリークラブ)が2位入賞を果たす | | |
| 中国無錫市で開催された2013年世界ユースアーチェリー選手権大会に古田悠(和歌山高校3年)が出席し、女子個人17位、男女ミックス19位、女子団体9位となる | | |
| 第18回アジア選手権大会で古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が男子個人優勝、男子団体2位を果たす | | |
| 第55回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が優勝、古田悠(和歌山高校3年)が8位入賞 | | |
| 2014 | 26 | 第23回全日本室内アーチェリー選手権大会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が優勝を果たす |
| | | タイ バンコクで開催された2014年アジアグランプリ第1戦において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が男子個人7位、男子団体3位入賞を果たす |
| | | 平成25年度JOCジュニアオリンピックカップ第32回全国高等学校アーチェリー選抜大会において、倉矢知明(貴志川高校2年)が出席し、5位入賞を果たす |
| | | 中国 上海で開催された2014年第1回ワールドカップ上海大会で古川高晴(近畿大学生物理工学部)が男子個人17位、男子団体が優勝を果たす |
| | | トルコ アンタルヤで開催された2014年度第3回ワールドカップアンタルヤ大会で古川高晴(近畿大学生物理工学部)が男子個人3位、男子団体3位入賞を果たす。また、最も10金が多かったロンジン賞を獲得 |
| | | 兵庫県加東市で開催された第47回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会で久保舞(医療法人彌栄会)が7位入賞をはたす |
| | | 第9回全日本小学生アーチェリー選手権大会に寒川慎也(雄湊小学校)が出席し、2位入賞を果たす |
| | | 第62回全日本実業団アーチェリー大会(愛知県)において、久保舞(医療法人彌栄会)が個人2位入賞を果たす |
| | | 台湾 台北で開催された2014年度第2回アジアグランプリに古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、男子個人9位、男子団体3位、ミックス3位入賞を果たす |
| | | 韓国に川で開催された第17回アジア競技大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、男子団体4位、個人17位となる |
| | | 第69回国民体育大会(がんばらば長崎国体)において、成年男子団体(古川・向井・山田)が7位入賞、少年男子個人で倉矢知明(貴志川高校3年)が3位入賞を果たす |
| | | 第14回全国障害者スポーツ大会(長崎ががんばらば大会)において、リカーブ30m(区分:上肢障害)部門で奥野一郎(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝を果たす |
| 2015年U-20ナショナルチーム選考会において、倉矢知明(貴志川高校3年)が8位となり、U-20ナショナルチームのメンバー入りを果たす | | |
| 第56回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会において、大嶋恵(医療法人彌栄会)が個人2位、古川高晴(近畿大学生物理工学部職員)が8位入賞を果たす | | |
| 2015 | 27 | 第24回全日本室内アーチェリー選手権大会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が2年連続の優勝を果たす |
| | | 平成26年度JOCジュニアオリンピックカップ第32回全国高等学校アーチェリー選抜大会において、谷幸太郎(貴志川高校2年)が5位、ミックス戦で平松勇人(和歌山高校2年)・西山舞(貴志川高校2年)が3位入賞を果たす |
| | | デンマーク コペンハーゲンで開催される第48回世界ターゲットアーチェリー選手権大会最終選考会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、第1位で日本代表として出場が決定 |
| | | 中国 上海で開催された第1回ワールドカップ上海大会で古川高晴(近畿大学生物理工学部)が男子団体が金メダルと獲得、ミックス戦で銀メダル、個人9位となる |
| | | トルコ アンタルヤで開催された第2回ワールドカップアンタルヤ大会で古川高晴(近畿大学生物理工学部)がミックス戦で銅メダルを獲得、また、男子個人5位、団体9位となる |
| | | 韓国 光州広域市で開催される第28回ユニバーシアード競技大会最終選考会に古田悠(近畿大学2年)が出席し、第3位で日本代表として出場が決定 |
| | | 中華台北で行われた台北オープン大会に倉矢知明(近畿大学1年)が出席し、男子団体4位、男子個人17位となる |
| | | 第48回 全日本社会人ターゲットアーチェリー大会において、土井友幹(医療法人彌栄会)が個人3位、大嶋恵(医療法人彌栄会)が8位入賞を果たす |
| | | 第63回全日本実業団アーチェリー大会(愛知県)において、鈴木葵(医療法人彌栄会)が個人優勝を果たす |
| | | 第48回世界ターゲットアーチェリー選手権大会に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、男子個人で銅メダルを獲得する。また、ミックス戦で7位、男子団体6位となる。リオデジャネイロオリンピックの個人出場枠を獲得 |
| | | コロンビアで行われた2015年ワールドカップメレリン大会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、ミックス戦で銅メダルを獲得、個人33位、団体8位となる |
| | | リオ国際チャレンジ大会(プレオリンピック)に古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、男子個人17位、男子団体9位となる |
| | | 第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)において、成年男子団体(古川・土井・津田)が2位、成年女子団体(鈴木、古田、平川)が7位、少年男子団体(平松・増田・谷)が5位入賞を果たし、男女総合成績3位となる。また、成年男子個人で古川高晴(近畿大学生物理工学部)が優勝、土井友幹(医療法人彌栄会)が6位、成年女子個人で古田悠(近畿大学2年)が2位、少年男子個人で平松勇人(和歌山高校3年)が6位入賞を果たす |
| | | 第15回全国障害者スポーツ大会(紀の国わかやま大会)において、リカーブ50・30m部門で尾崎直彦(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝、30m部門で谷口ゆかり(花王(株))が2位入賞を果たす |
| 第57回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が個人優勝、古田悠(近畿大学2年)が4位、鈴木葵(医療法人彌栄会)が6位入賞を果たす | | |
| 兵庫県加東市で開催された第13回世界室内選手権大会最終選考会において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が1位となり、世界室内大会日本代表選手に選考される | | |
| 和歌山県において、2回目となる第25回全日本室内アーチェリー選手権大会(2016.2.20~21)を和歌山ビッグホエールで開催する。男子の部において、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が個人準優勝を果たす | | |
| トルコアンタルヤで開催された第13回世界室内アーチェリー選手権大会に、古川高晴(近畿大学生物理工学部)が出席し、団体7位となる(古川高晴-3月末日に東大阪の本部へ転籍) | | |
| 2016 | 28 | 第71回国民体育大会(希望郷いわて国体)において、成年男子団体(津田・山田・平松)が6位入賞、成年男子個人で山田 啓隆(近畿大学3年)が8位入賞を果たす |
| | | 第16回全国障害者スポーツ大会希望郷いわて大会において、リカーブ30mダブルラウンドで奥野一郎(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝を果たす |
| | | 第16回全日本学生アーチェリー室内個人選手権大会において古田 悠(近畿大学3年)が2位入賞を果たす |
| 2017 | 29 | 平成29年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第50回全国高等学校アーチェリー選手権大会において、男子団体4位(岩尾、津田、小伏) 女子団体5位(朝木、井口、翔山) 男子個人4位(津田直人) 女子個人5位(朝木倫) 全種別入賞を果たす |
| | | 第56回 全日本学生アーチェリー個人選手権大会において平松勇人(長崎国際大学)が優勝を果たす |
| | | 倉矢知明(近畿大学)第15回世界ユース選手権大会(アルゼンチン オザリオ)に日本代表として出場する |
| | | 第72回国民体育大会(愛顔なぐえひめ国体)において成年男子(山田・増田・平松)が9位、成年女子(古田・鈴木・平川)17位となる |
| | | 第17回全国障害者スポーツ大会(愛媛国体)において50m30mラウンドで尾崎直彦が(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝を果たす |

| 西暦 | 元号 | 事柄 |
|------|---------|--|
| 2018 | 30 | 2018ワールドカップ第1戦上海大会において、倉矢知明(近畿大学)が日本代表として出場し、団体銀メダルを獲得する |
| | | 2018ワールドカップ第2戦アンタルヤ大会において、倉矢知明(近畿大学)が日本代表として出場し、団体銀メダルを獲得する |
| | | 平成30年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第51回全国高等学校アーチェリー選手権大会において、朝木倫(和歌山高校3年)が女子個人準優勝を果たす |
| | | 倉矢知明(近畿大学)が第18回アジア競技大会(インドネシア・ジャカルタ)に日本代表として出場する(団体7位) |
| | | 第18回全国障害者スポーツ大会(福井県)において30mWラウンドで住川彰朗(和歌山SSKアーチェリークラブ)が優勝を果たす |
| | | 第1回全日本ゴールデンエイジカップアーチェリー選手権大会兼2019年GA育成チーム選考会において矢渡茜(和歌山市立貴志中学校2年)が優勝を果たし、GA育成チーム入りを果たす |
| 2019 | 31 / R1 | 平成30年度JOCジュニアオリンピックカップ第36回全国高等学校アーチェリー選抜大会において、西山寛人(貴志川高校2年)が5位入賞を果たす |
| | | 第14回全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会において、矢渡茜(和歌山市立貴志中学校3年)が7位入賞を果たす |
| | | 倉矢知明(株式会社インダ)が第50回世界アーチェリー選手権大会に出場する(個人17位、団体9位) |
| | | 第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)において成年男子(倉矢・増田・平松)が6位入賞、倉矢知明(株)インダ)が個人6位入賞を果たす |
| | | 第19回全国障害者スポーツ大会(いきいき茨城ゆめ大会)は台風19号の影響により、全日程中止となる |
| | | 2020年ナショナルチーム選考会において矢渡茜(和歌山市立貴志中学校3年)がU-17女子の部で4位の成績を収め、U-17ナショナルチームメンバー入りを果たす |
| | | 第29回全日本室内アーチェリー選手権大会において、矢渡茜(和歌山市立貴志中学校3年)がリカーブ小中女子の部4位入賞を果たす |
| 2020 | R2 | 第75回国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)および第20回全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)は新型コロナウイルスのため、大会延期となる一特別団体として2023年度に実施される |
| | | 2021年ナショナルチーム選考会において、矢渡茜(和歌山高校1年)がU-17女子の部で1位の成績を収め、U-17ナショナルチームメンバー入りを果たす |
| 2021 | R3 | 第76回国民体育大会(三重とこわか国体)および第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)は新型コロナウイルスのため、大会中止となる |
| | | 第17回世界ユースアーチェリー選手権大会(ポーランド・ヴロツワフ)において、矢渡茜(和歌山高校2年)が出場し、女子個人9位、女子団体5位入賞を果たす |
| | | 2022年ナショナルチーム選考会において、矢渡茜(和歌山高校2年)がU-20女子の部で6位の成績を収め、U-20ナショナルチームメンバー入りを果たす |
| | | 令和3年度第40回全国高等学校アーチェリー選抜大会において、矢渡茜(和歌山高校2年)が女子準優勝を果たす |
| 2022 | R4 | 令和4年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第55回全国高等学校アーチェリー選手権大会において、矢渡茜(和歌山高校)が女子個人準優勝、和歌山高校(矢渡茜、田中千裕、岩井聖、伊都華音)が女子団体5位入賞を果たす |
| | | 第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)において、少年男子団体17位(竹畑胤希、栗本光太、松本響生)、竹畑胤希(和歌山高校)が9位となる |
| | | 第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)において、新川真信が男子リカーブ30mダブルラウンド2位(大会記録)を果たす |
| | | 男子第61回全日本学生アーチェリー王座決定戦において、愛知産業大学(岡田拓己)が3位入賞を果たす |
| | | 女子第57回全日本学生アーチェリー王座決定戦において、近畿大学(朝木倫)が優勝を果たす |
| | | 第17回全日本小中学生アーチェリー選手権大会において、谷地陸(新庄小学校)がリカーブ30m男子で4位、山下瑛琉(和佐小学校)がリカーブ18m男子で6位となる |
| 2023 | R5 | 令和5年度全国高等学校総合体育大会高円宮賜杯第56回全国高等学校アーチェリー選手権大会において、和歌山高校(西岡愛登・坂本絆・阪本莉庵・武井健聖)が男子団体準優勝を果たす |
| | | 男子第62回全日本学生アーチェリー王座決定戦において、愛知産業大学(岡田拓己・竹畑胤希)が3位入賞を果たす |
| | | 第72回全日本実業団アーチェリー大会を南山スポーツ公園(日高川町)で開催する |
| | | 第6回GAカップ兼第18回全日本小中学生アーチェリー選手権大会において、山下瑛琉(和佐小学校5年)が18・12m男子の部4位入賞を果たす |
| | | 本会会長の世耕弘成が公益社団法人全日本アーチェリー連盟の会長に就任される |
| 2024 | R6 | 第73回全日本実業団アーチェリー大会を南山スポーツ公園(日高川町)で開催予定 |
| | | 第34回全日本室内アーチェリー選手権大会をビッグホール(和歌山市)で開催予定 |